

令和6年度 市民病院事務局長「政策宣言」中間報告

市民病院事務局長 宮本 康博

○ 令和6年度重要事業

事業名	経営強化に向けた取組の推進
目標	将来にわたって持続可能な地域医療提供体制を確保していくため、引き続き、救急医療体制の堅持と地域包括ケアシステムの推進を図り、急性期から回復期まで質の高い医療を幅広く提供していくとともに、「射水市民病院経営強化プラン」で掲げた経営強化に係る取組を着実に実施することで市民病院の経営強化を推進します。
進捗状況	急性期から回復期までの治療が必要な患者を幅広く受け入れ、前年度を上回る入院患者数の確保に努めています。
今後の対応	引き続き、「射水市民病院経営強化プラン」に掲げた経営改善に係る取組を推進します。

事業名	効率的で効果的な病院運営の推進
目標	令和6年度診療報酬改定の内容を精査するとともに、医師・看護師を始めとした医療人材を確保し、安全・安心で質の高い医療の推進に努め、効率的で効果的な病院運営を推進します。
進捗状況	診療報酬改定の内容を精査し、新たな施設基準や加算の取得に取り組んでいます。
今後の対応	安全・安心で質の高い医療を提供するために医療人材の確保を図るとともに、診療報酬改定を踏まえた効率的な病院運営を推進します。

事業名	地域連携と広報活動の推進
目標	開業医や他病院、介護施設との連携をより一層進め、紹介患者の増加に努めます。 また、病院ホームページや広報誌の活用、健康に関するイベントや出前講座の実施など、病院の積極的な広報活動を推進します。
進捗状況	射水市医師会とオンラインでの症例検討会の実施や、9月には協同で「病診連携の会」を開催するなど、市内開業医との地域連携を進めています。
今後の対応	地域の医療機関や介護施設との地域連携を更に進めるとともに、11月には市民病院を会場として健康に関するイベントを開催するなど、病院のPRも含めて積極的に広報活動を推進します。